

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2025 **11**

第39巻11号
(通巻459号)



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

参加報告

第40回日本老年精神医学会

9月26日、27日に石川県金沢市で開催された、第40回日本老年精神医学会に参加しました。峡西病院からは、院長の川崎、成田がそれぞれ発表者として参加しました。

私は初めて参加する学会で、当院スタッフ以外には顔見知りがおらず、とても緊張しました。私の発表では、A病棟で実施した勉強会の実践報告をもとにして、パーソナル・リカバリーを目指したケアについて話をしました。

当院では、「その人らしさとともに創造する」という理念を掲げ、日々の実践を重ねています。とても大切な理念ではありますが、日々の実践に落とし込むことは容易ではないと感じています（もちろん、容易ではないからこそ、目指す意義があります）。私の発表では、勉強会に参加してくれたスタッフからのコメント、アンケートの記載を通じて「その人らしさとともに創造する」ケアとはいかなるものか、自分なりに考えたことを、つたないながらも伝えました。本発表を通じて考えたことを今後の実践に繋げていきたいと考えています。

学会の会場では、この分野で活躍している先生方にお会いすることができて感激しました。お話し

する時間は短かったですが、私自身が考えていることを伝えたり、先生がどんな考えで日々の研究・実践を重ねているのかをうかがうことができ、大変参考になりましたし、モチベーションのアップにも繋がりました。

学会以外の時間帯では、金沢を十分に堪能したとは言えませんが、加賀百万石の歴史ある街並みや、その土地に流れる雰囲気を感じるものが少しだけできました。

発表に当たり、勉強会に参加してくださったA病棟に関わるスタッフ、一緒に発表してくれた奥水GL、長澤OT、発表に対してコメントをくれたスタッフに心から感謝申し上げます。

リハビリテーション部
心理グループ 成田



院内研修

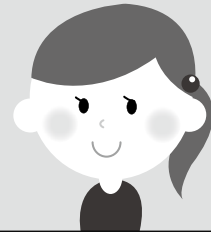
行動制限最小化

令和7年9月19日、行動制限最小化委員会主催で山梨県立大学看護学部茅野久美先生を講師に招き「身体拘束防止に向けて」を演題とし法定研修が開催された。身体拘束の定義とは「本人の行動を制限すること」となっている。法的に身体拘束に該当しないことであつても「監視されている」「自由を奪われている」と患者（利用者）へ感じさせるケア方法は倫理的な観点からもその人の尊厳を損なう行為であるため十分な理解が必要と説明されていた。医療、介護の現場で患者（利用者）の安全性の確保を理由に言葉や薬剤などで「本人のできることを制限する」ことは大きな弊害を及ぼすこととなる。

そのため患者（利用者）の行動の背景を理解し本人の価値観や生活史を尊重することが大切である。また専門職間での連携や情報共有も欠かせない要素である。認知症

の方に対する関わりでは記憶障害や見当識に対する配慮を行なうことでBPSDの発症を防ぎ安心感の確保に繋がる。患者（利用者）と介護者が共生し共に支え合うにはお互いが理解し合う姿勢が重要である。そのために、5分でも多く患者（利用者）と関わる時間を作ることが身体拘束を減らすための一歩である。今回の研修を通して、尊厳を守る医療、介護の重要性と、業務改善の必要性を改めて感じた。



令和6年度
幸せ発表会◇創造賞◇
栄養 G
佐野 里実

目標

持続可能な食事提供を目指して

理由

全国的に続く給食業界の人手不足が続いており、当院でも将来的な人員体制を見据えた対応が必要と考えた。その中で、食事形態を整理・見直すことで持続可能な提供の実現を目指し目標とした。

背景① 提供体制と課題

当院の栄養Gでは、1食当り約250食の食事を提供している。その中で次のような課題があった。平均年齢の上昇に伴う課題である。当院の入院患者別の年齢を調べ、

形態を検討した。

変更内容として

(1) 主菜の統一

常菜を高齢者の多いフレイル病棟、リスタート病棟、老健では主菜のみ一口大で統一。

(2) 新たな「粗きざみ」の導入

常菜を1cm×1.5cmの大きさに切り、安全に食べられるようトロミ剤を使用し、まとまりよくした。

(3) シミュレーションの実施

調理員へ説明を行い粗きざみを統一した大きさと提供出来るよう、実際に厨房内で刻む作業を行いながら確認した。また、同じ仕上がりになるよう写真入りの資料を作成し、一目でわかるように工夫した。準備を通して理解しやすい環境を整えることが出来た。また、書類の整備を行い、診療報酬や介護報酬に基づく栄養情報の連携加算に対応できるように相談員を始めとする多職種にも食事形態一覧表を共有した。

結果

2024年12月に病院、老健全体で269名に嗜好調査を実施。粗きざみを導入したため、食事形態に関して大きさ、食べやすさ、見た目に關して調査した。

(1) 主菜の切り方について

81%がちょうどよいと回答し、粗きざみの大きさが概ね適切であることがわかった。

(2) 食べやすさについて

76%が食べやすいと回答。形態変更後も概ね満足いただけていることがわかった。一方、食べづらいとの回答も13%あったため、食べづらさを感じている患者、利用者に合った食事形態の提供が出来るよう食事摂取の様子や摂取量について確認しながら介入出来ればと考えている。

(3) 主菜の見た目について

満足38%、ふつうが43%、ふつうが最も多い結果となった。今後の課題としては、ふつうを満足に近づける工夫が必要と感じている。

まとめ

嗜好調査の結果を踏まえ、患者や利用者にあつた食事形態の提供が出来ていることがわかった。

そのため栄養Gが目指す安心、安全な食事の提供につながっていると考える。今回の食事形態の集約により、調理員の作業ミスが減り、作業の負担の軽減をすることで働きやすさにもつながっていったら良い。引き続き、持続可能な食事形態を目指し栄養G一丸となって取り組んでいきたい。

OT・PT だより

甲府南高校
吹奏楽コンサート

9月27日(土) にリスタート病棟で甲府南高校吹奏楽部の皆さんによるコンサートが開かれました。生徒13名、先生2名、当院職員1名も訪問し吹奏楽の演奏をしてくれました。

リスタート病棟にブリエ病棟、クレル病棟、リハビリセンターから数名の参加者があり一緒に聴きました。

「宇宙戦艦ヤマト」の曲から始まり、時代劇曲メドレー、「上を向いて歩こう」「川の流れるように」など全6曲。皆さん手拍子をしたり、演奏に合わせて口ずさんだりしていました。合間には司会による楽器の紹介もあり真剣に聞いていました。また生演奏の迫力にびっくりしている患者様もいました。アンコールでは皆さんから「宇宙戦艦ヤマト」の声が上がり最後の締めくくりの曲を聴きました。

リハビリテーション
センターだより

第28回 障害者文化展

第28回山梨県障害者文化展(地域展 韮崎会場、韮崎市民交流センターニコリ地下1階アートギャラリー、期間10月10日～10月14日)が開催されました。県内の障害者施設や病院から多くの作品が展示され、当リハビリテーションセンターからは28点の作品を出品しました。出品者それぞれの個性や創作への思いが表現され、日頃の創作活動の成果を披露し、訪れた方々に感動を与えました。



総合展は県立図書館1階イベントスペース、11月21日～11月26日10時～18時、最終日は14時まで開催予定です。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

プログラム紹介

ユニット2 研修会

【活動曜日】 第1・3水曜午前

【活動内容】

ユニット2のプログラムで、月2回行っている活動になります。研修会といっても堅苦しいものではなく、生活や健康に役立つ情報や気になるテーマについて、本やインターネット、時には外部講師を招いて参加者みんなで学んでいます。生活や健康に役立つ内容であればジャンル問わず、幅広く取り上げています。例えば、障害福祉サービスについてやメイクアップなど美容に関すること、地震や台風など防災に関すること、腸活や涙活、熱中症対策、前向きになるための方法、リラクゼーションの方法、カードゲーム、卓球、脳トレ等々。座学だけではなく実際に体験して、どう生活や健康に役立つかを話合っています。スタッフからの提案だけでなく、メンバーからも研修会のアイデアがたくさん出ています。ご興味のある方はぜひご参加ください！



*ホームページをぜひ、ご覧ください。

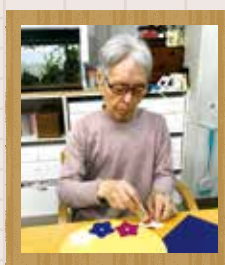
峡西病院 リハビリのご案内

検索

ろうけんTimes

今月の
TOPICS★

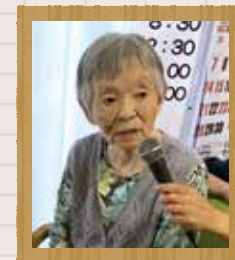
敬老会を開催しました(^^)！今年の敬老会では、「〇×クイズ」や「中には何が入っている？」ゲームをしました(^^)！参加した利用者様は、「ん？なんだ？」「何が入ってる？」とかごの中に入っている物を想像しながらゲームを楽しんでいました☆敬老会の締めくくりには、長寿の象徴である鶴と亀に、感謝と敬意の気持ちを込めてスタッフが一つひとつ手作りした折り紙の鶴と亀のストラップを、皆さまへプレゼントさせていただきました(*^_^*)

3F
通所
リハビリ2F
認知症
専門棟

認知症専門棟の「制作グループ」で桔梗の折り紙貼り絵を作りました(#^^#) 紙を折ったり切ったり、出来たものを貼っていったりと工程が多くそれぞれ作業を分担しながら時間をかけて作っていました★「難しいね」「場所はこれでいいの？」「綺麗に出来たよ」と集中しながらそれぞれの作品を仕上げていました(*ω*)



一般棟では敬老会を開催しました☆ 敬老会では全員参加型のカラオケ大会と、職員による日本の伝統芸能「太神楽曲芸(だいしんがくぶしげい)」一つである傘玉回しを風船バージョンで披露させていただきました(*^▽^*) カラオケ大会では利用者様が「恥ずかしいから…」と言いながらも一生懸命歌ってくれました(^^)！これからも敬老会を通じて笑顔と元気が生まれるひと時を大切にしていきます★

1F
一般棟

* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、Aさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：国宝

(作者：吉田修一／出版社：朝日新聞出版)

●読んだきっかけは？

今話題の映画『国宝』を鑑賞後、原作小説にも興味が湧いたため、書店で手に取りました。

●おすすめのポイントは？

映画を鑑賞したことがない方にとってネタバレにならない範囲で紹介すると『国宝』は芸の世界に生きる男の半生を描いた物語です。主人公の喜久雄は、極道の家に生まれながら、歌舞伎役者への道を歩み始めます。芸にすべてを捧げる人生は美しくも残酷で過酷であり、舞台裏での人間関係や芸を極めることへの孤独と執念が胸に迫るお話です。

映画では描かれない登場人物の内面や情熱が伝わるのが原作小説の良い点です。歌舞伎に詳しくない人でも楽しめる作品でした。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者がその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。



宇宙が好きだ。星々を眺めていると、そこに広がる無数の星々が、私という存在がなんとちっぽけなものを気づかせてくれる。

その宇宙には「ボイド」と呼ばれる空洞が存在する。そこには銀河も星も存在せず、何もないような空間が数億光年にもわたって広がっている。科学者たちはそれを宇宙の構造

として捉えるが、私はこの空白に人の心のあり方を重ねてしまう。

人生にはときに理由もなくむなしさが訪れる時がある。何をしても心が満たされず、自分の存在が薄れていくように感じる時がある。目の前に人がいても、何か人とながつていない感覚が持てない。そんなとき心の奥にぽっかりと空いた虚無を感じるのだ。

しかし宇宙のボイドが決して「無意味」なものではないように、私たちの内面の空白もまた重要な役割を果たしているのかもしれない。ボイドは銀河が形成される空白で

あり、宇宙の広がりをも可能にするスペースだ。人間の心にも、空白や沈黙があるからこそ、新しい想いや生き方が生まれる。喪失や孤独を経験することで、人は深く、他者を思いやるようになるのではないか。

私たちは皆、それぞれに希望や生きる意味を抱えて生きている。ときにその中心に空洞を感じながらも、それを否定せず見つめ直すことでまた、歩き出す力が生まれてくる。

宇宙のボイドが銀河を際立たせるように、人間の心の空白もまた人生の光をより強く照らす力になるのだと、私は信じている。

私の趣味はパチンコ、パチスロです。仕事が休みで何も予定がない日は打ちに行つて朝から夜まで打っている時もあります。ただ、あまり皆さんにお勧めできるものではないので、簡単に伝えます。

私は主にスロットを打っていますが、最近ではスロットのメダルもなくなつてきています。スマスロといってメダルの出し入れがなく、枚数のみ表示されるようになりました。スロットをやっている人は共感できると思います。が、ドル箱にメダルを入れる手間がなくなったり、手が汚れなくて済むようになったことはとてもありがたいです。スロットはこんなところで終わります。

そんな私も実は読書、主に小説ですが、読むことも好きです。



小説を読み始めたきっかけは高校の頃に朝読書という習慣があり、そこで初めて小説を読み始めました。

基本的に読むのはサスペンス、ホラーです。今まで読んできた中でお勧めの本を紹介したいと思います。

『青の炎』 貴志祐介

私が小説を読むきっかけとなった本です。同居している父親を殺す物語ですが、最初はつまらないなと思いましたが、読んでいきました。いざ、父親を殺すシーンになると手が止まらなくなりました。

『黒い家』 貴志祐介

私が読んだ本の中で一番怖いですが。かなり前ですが、映画で実写化もされているので、良かったら観てみてください。

こちら編集室

温暖化の影響もあつてか、今年の夏は異常に長かったように感じます。これを執筆している10月中旬でさえ、天気の良い日は、場所により28℃近い夏日となります。

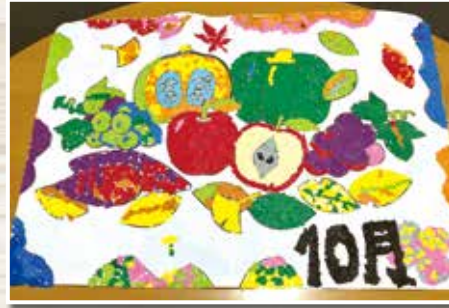
異常気象が続くと心配になるのが、次に訪れる冬の寒さです。そこでAーに今年の冬の寒さを聞いてみましたが、結論としては分からないそうです。

日本の気候に影響する要素は無数にあり主には海水温が大きく影響するようです。東太平洋の赤道付近の海水温が低下する「ラニーニャ現象」が起きると日本は猛暑、厳冬となり、逆に海水温が上昇する「エルニーニョ現象」が起きると冷夏、暖冬となるそうです。また、海水温は1年の内でも刻々と変化していくため、夏までは海水温が低下するラニーニャ現象が起きて猛暑だったが、冬になると海水温が上昇するエルニーニョ現象が起きて暖冬になった…等々もあり、予測が立てづらいようです。厳しくない冬を願いますが、寒くないと育たない農作物もあるでしょうし、悩ましいところですね。

今月の予定 11月

- 4日 外来ケアプロセス会議
- 11日 院内研修「医療安全」
- 21日 防災委員会
- 26日 運営会議
- 28日 新任者研修「入院制度」

今月の一枚



病棟の患者様と一緒に作成した貼り絵です。
(写真は先月のものですが)
11月分も作成中です！

「おあしす」に関するアンケートにご協力をお願いします

いつも「おあしす」をご愛読いただきありがとうございます。
より良い広報誌を目指していくために、アンケートにご協力をお願いします。

■下記QRコードからアンケートへの回答をお願いします。



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

風に揺れ薬局の旗に紅葉狩

今福 和人

ゆうぐれのすすき揺れるや寒さ増し

カナメ

待つ人と焚火の歌と君の歌

ヒロセツトム

枯野原すすきもおいで春を待つ

保坂五十鈴

布団は気持ちが良いと思うもの

H・H

初冬や女子七歳の七五三

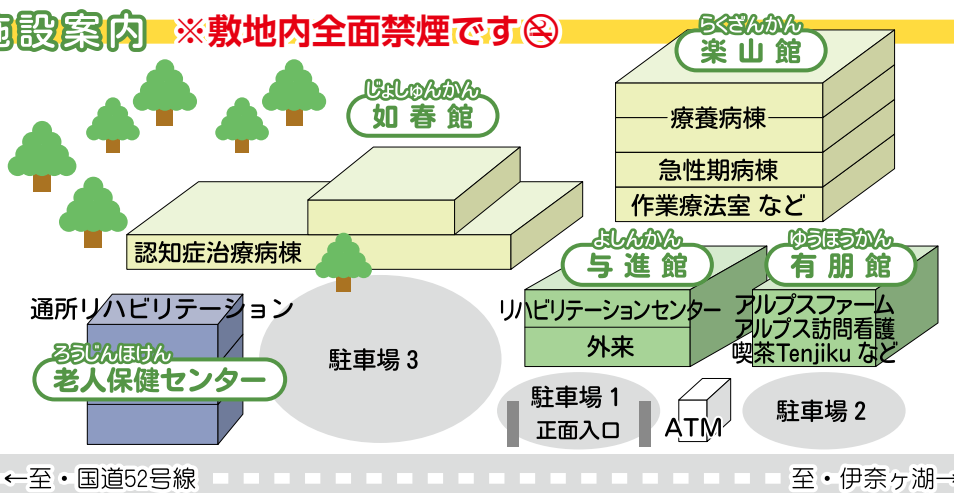
渡辺 あき

穏やかであるために生まれ変わろう

渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☑



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰍沢営業所行き
(西野経由) 鰍沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第459号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

広報委員会

川崎洋介、大槻清志、清水悠司、相川なつき、渡邊 彩、雨宮尚登
渡辺敏夫、對馬鈴香、金丸 綾、藤田辰徳、川口 敦

次回460号も
お楽しみに！